

講義名	研究演習 (商)		
講義コード	52207	授業形態	
担当教員	今西 珠美	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2時限
		オンパニング・コード	SEM250
学部・学科	演習分野		
商学部	国際経営論 / 国際観光論		
概要説明			
<p>グローバル経営の視点から観光産業をはじめとするさまざまなビジネスについて研究します。「国際×観光×経営」の3要素をコラボレーションさせて学び、さまざまな状況や議論があることを理解し、考えるセンスを磨きます。事例から事業の仕組みや行動のわけを知り、事象の背後にあるメカニズム、理論を学びます。知る、見方・捉え方を広げる、分析力をつける(常識を疑う)、考え抜き、意見できるようにするの4つを目指します。教材に基づく研究報告が必須となりますが、研究演習では当分野の専門知識習得と研究報告を通じたレジュメ作成と論旨展開の能力向上に努めます。</p>			
主な卒業論文のタイトル			
<p>「未知のウィルスによって一変した私たちの社会と社会が今後あるべき姿」  「ローコストキャリア(LCC)が創るアジアの国際交流」  「若者の観光旅行離れにより揺れる日本の観光業界」  「アニメ・マンガツーリズムと地域おこし」  「寝台列車の可能性について - 寝台列車は復活できる - 」  「日本によるインバウンド政策」  「五感を活かした癒しビジネス」  「航空業界から考える安全」</p>			
教員よりの要望			
<p>本研究演習の履修者として次のような人物を望みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明朗快活で学習意欲、向上心がある</li> <li>・自ら行動でき、挑戦できる</li> <li>・海外・国際分野に興味を持っている</li> <li>・社会秩序を保ち、社会規範を守ることができる</li> <li>・礼儀正しく、嘘をつかない</li> <li>・周りの人に迷惑をかけず、配慮し、協力できる</li> <li>・日本語能力に問題がない(文献読解、研究報告、議論に必要です)</li> <li>・シラバスを熟読している</li> </ul>			
選考方法			
<p>と の両方法によって選考する予定です。いずれも満たしてください。</p> <p>書類(申込書+成績+ )  申込書、成績通知書、また取得資格があればその内容を申込書に記入してください。  書類内容より意志や読み書き能力等を評価します。  コミュニケーション(面接やメール等にて)  対話を通じて人物評価を行います。</p>			

評価方法	
研究演習に取り組む姿勢・態度、研究報告・提出物の内容、研究演習への貢献等により総合的に評価します。	
教員英字氏名	研究室
Tamami Imanishi	研究棟 3413
最終学歴	
神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了	
学位	
博士(経営学)	
主な研究活動・社会活動・研究業績	
<p>【研究テーマ】  「観光産業のグローバル化」</p> <p>【主な社会活動】  国土交通省交通政策審議会港湾分科会臨時委員、厚生労働省大阪労働局地方労働審議会港湾労働部会臨時委員、兵庫県港湾審議会委員、大阪市港湾審議会委員、神戸市港湾局指定管理者選定評価委員会委員、特別史跡姫路城跡保存活用計画検討懇話会委員、尼崎西宮戸屋港湾計画検討会委員など。</p> <p>【研究業績】  【著書】  今西珠美(2001)『旅行企業の国際経営』晃洋書房。  **2001年度国際ビジネス研究会学会賞受賞 **2001年度中内賞受賞</p> <p>【論文】  今西珠美(2023)「日本のアウトバウンド・ツーリズムの発展 - 2000 - 2019年の20年間の歩み - 」『流通科学大学論集 流通・経営編』35(2):39-56。  今西珠美(2022)「日本の旅行業界の経営状況分析 - 35年間の歩み - 」『流通科学大学論集 流通・経営編』34(2):67-89。  今西珠美(2021)「思いがけない観光競争力 - シアトルの事例 - 」『流通科学大学論集 流通・経営編』33(2):21-35。  今西珠美(2020)「カジノ都市と観光産業のグローバル化 - ラスベガスの事例 - 」『流通科学大学論集 流通・経営編』32(2):47-69。  今西珠美(2019)「海外における高品質な旅行サービスの提供 - ジャルパツクの国際経営 - 」『流通科学大学論集 流通・経営編』31(2):21-41。  今西珠美(2018)「日本の旅行企業の新興国進出 - エイチ・アイ・エスの東南アジア進出における事業展開 - 」『流通科学大学論集 流通・経営編』30(2):91-111。  今西珠美(2016)「旅行業における戦略的内部化 - 垂直統合による取扱量拡大モデル - 」『流通科学大学論集 流通・経営編』29(1):123-140。</p>	
趣味・特技	
旅行、美術館・博物館・庭園巡り、爆睡	
所属	
商学部経営学科	
所属学会	
組職学会、国際ビジネス研究会	
専門分野	
国際経営論、国際観光論	
担当科目	
経営学入門、グローバル経営基礎、国際経営論、国際観光事業論、教養特講 (経営学科へのいざない)、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究	
備考	
<p>皆にとって有意義なゼミにしたいと考えています。単位修得のみを目的とする応募、履修は控えてください。ゼミに所属すれば単位が修得できるとは限りません。また、文献読解および研究報告、議論に日本語能力が必須です。</p>	
実務経験の有無及び活用	
実務経験なし	